

「受験を通して」

熊本大学・工学部・情報電気工学科 田中 佑来

私が受験勉強を通して大切だと思ったことを3つ話したいと思います。

1つ目は、自分のやるべきことをやるということです。私の場合は単語を覚えることでした。私は1年生の頃から暇な時間があれば単語帳を見ていましたが、やっていて本当に良かったと思いました。そして英単語だけではなく古文単語もちゃんと覚えましょう。単語を覚えるだけで世界は変わります。しかし、私のクラスには単語を覚えていないのに点数が高い人がいました。そんな人達を見て、私が単語の勉強をしていた時間は無意味だったのかと考えてしまうこともありました。しかし、いいや違う、私は単語を覚えないと解けないんだから覚えるしかないという割り切って単語の勉強を続けました。そうしたことによって少しずつ点数が上がっていきました。他の人がどうかは関係なく、自分にとって必要だと思う勉強をしましょう。

2つ目は、友達存在です。私は運がいいことに、休み時間に楽しく話せる友達、勉強を教えてくれる友達、応援してくれる友達、一緒にやってくれる友達など、様々な良い友達に恵まれました。そんな友達のおかげもあって、思ったように点数が上がらず、逃げ出しそうになることもあったつらい受験勉強の日々を乗り越えることができたと思います。そして、一緒に合格発表を見て、一緒に合格を喜んでくれたあの瞬間は二度と忘れることがないと思います。皆さんも仲間を大切に受験勉強を頑張ってください。

3つ目は、目標を持つことです。勉強ってあんまり楽しくないですね。そのため、なにか目標があって、それに酔っていないとやってられません。私が立てた目標は「後悔だけはしない」でした。結果がどうであれ勉強をしなかったら後悔することになるだろうと思っていました。不合格だった場合は想像しやすいと思います。絶対に「あー、あの時もっと勉強してればなあ。」と考えてしまうと思います。逆に、合格だった場合は「私は勉強を頑張って、合格を勝ち取ったんだ。」と胸張って生きることができず、モヤモヤした気持ちが残るだろうなと思っていました。とはいえ、時には息抜きも必要だと思います。だからこそ、悔いの残らない選択を自分で選ぶようにしましょう。

最後に、ここまで偉そうに文章を書かせていただきましたが、皆さんが第一志望に合格できることを願っています。応援しています。

「伝えたいこと」

佐賀大学・理工学部 田中 裕純

私は総合型選抜入試で佐賀大学に合格しました。入試形態は個別学力試験や面接、提出書類で合否が決まるというものでした。私は勉強以外で大切だと思ったことについて2つのことを伝えようと思います。

1つ目は、何事も全力で取り組むことです。今、皆さんは部活や習い事など様々なことに取り組んでいると思います。それらのことに全力で取り組んでください。必ずどこかで役に立つ日が来ます。私は活動実績を書くときや勉強面でそれらのことが役に立ちました。私は部活やボランティアを全力で行ってきました。それにより、活動実績を書くとき一切困ることがなかったです。また受験までの辛い一か月は陸上で培った忍耐力があったので乗り越えることができたのだと思います。

2つ目は、先生方を信頼し、頼ることです。提出書類の添削や面接練習、学習など朝早くから放課後最後まで空き時間を見つけ、ご指導くださいました。他にも様々な面からサポートしてくださいました。合格を伝えたときも、自分のことのように喜んでくださり、最後まで私を信じてくださったのだと感じました。

総合型選抜入試は早く終わる、チャンスが増える、楽そう、だと思っている人もいるかもしれませんが。私もそう思っていました。しかし、合格するという保証はなく、共通テストの勉強と総合型入試への準備を両立させなければなりません。他のみんなが共通テストに向けて勉強している中、総合型の準備を両立させるのはとても大変でなかなか勉強時間も取れず焦りも出てきます。少しでも余裕を持たせるためになるべく早めに自分の行きたい大学の入試方法を調べて、自分に合った入試方法を考えてみてください。そして、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

「受験を通じて」

早稲田大学・社会科学部・社会科学科 西川 正剛

私は自己推薦入試で早稲田大学に合格しました。

私が合格するために行った3つのことを紹介します。

1つ目は、授業に対する取り組み方です。私は、剣道部に所属していたので、日頃から学習の質を高め、限られた学習時間を有効活用する必要がありました。そのため、1日5時間程度の授業の内容をその日のうちに全て理解・整理することが最も効率が良いと考え、真剣に授業に取り組みました。理解できない内容があれば、授業中もしくは休み時間に積極的に先生に質問し、必ずその日にのうちに内容を理解・整理しました。また、理解している内容であれば、自分が先生になったつもりで同級生に教えることもありました。

2つ目は、英検です。私は、3年生の4月、5月の段階で入試に英検が必要だと知り、慌てて勉強して取りました。英検は筆記だけでなく、スピーキングがあります。スピーキングは自分1人で行うことは非常に難しいです。私の場合は、先生に無理を言って、昼休みや放課後を使って個別指導を受けました。現在、英検は様々な場面で活用できるので、自分が行きたい大学の入試制度を調べてみてください。

3つ目は、反復することです。私は、小論文のテストがあったのですが、初めは全く書けませんでした。しかし、先生の指導を受けながら、何回も書くことで少しずつ書けるようになりました。これは小論文に限らないと思います。英単語や部活も同じです。初めから諦めずに続けてみてください。

最後に、今、沢山の人の合格体験記を見ていると思います。そこで見つけたこと、知ったことをぜひ実践してみてください。必ず、役に立つと思います。第1志望合格に向かって頑張ってください。応援しています。

「受験を通して」

国際福祉大学・薬学部・薬学科 波呂 彩那

私はどのように勉強をしていたのかをお話します。

まず1つ目は、自分の周りにある勉強に必要なものは、目にとまらないところに置いていました。例えば、机の上に置いていたグッズなどをクローゼットにしまいこんだり、スマホのホーム画面にある SNS 系や動画系などのアプリを消したり、目に入らないところに置いたりといったところです。やはり勉強する環境は整っていないと集中力が切れるなどしてなかなか効率よく進まないなので、自分なりに勉強しやすい環境を作るのはとても大事だと思います。

2つ目は、自分にあった勉強法を探して、継続することです。そのような勉強法に変えることによって成績が上がりやすくなると思うので、時間があるときに色々試してみると良いと思います。そして、2週間程度継続してやるのがおすすめです。

3つ目は、モチベーションです。まずは自分が何を目指したいのか目標を決めることをおすすめします。自分の目標があることで、模試の結果が思うようにいかなかったり入試で失敗したりしたときでも、自分はここに行きたいんだという思いが強いと諦めず、めげず、突き進んで行けると思います。また、勉強は本当に人によると思いますが、どうしてもやる気出ないときもあると思います。そういうとき、自分は、場所を変えてみたり、音楽を一回だけ聞いてテンション上げて勉強したり、自分の目標である薬剤師さんが勉強している動画を見たりしていました。モチベーションの上げ方も人それぞれなので、皆さんぜひ色々模索してみてください。

最後に、受験は我慢強さと根性が私は大事だと思います。最後まで諦めず自分の目標、夢に向かって頑張ってください。

「推薦入試を通して伝えたいこと」

鹿児島大学・理学部・理学科・化学プログラム 樋渡 はるか

私は学校推薦型選抜Ⅱで鹿児島大学理学部に合格しました。今回は私の経験から、推薦入試を受けるにあたってやって良かったことなどについて書きます。

私が受験した化学プログラムは、共通テスト 1000 点(傾斜配点)と面接 200 点の 1200 点満点で合否を決定する方式でした。この入試を受けるにあたって共通テストはとても重要でした。しかし、私は共通テストの 1~2 ヶ月前から模試の結果が思うように出せないことが続きました。特に今まで得点源だった化学と生物の点数が落ち、とても焦ったことを覚えています。その時に取り組んだことが 2 つあります。

1 つ目は、普段使っている問題集を最初から解き直すことです。私は発展問題が難しく、止まってしまうことが多かったので、満遍なく復習するために基礎問題のみを解きました。がむしゃらに新しい問題を沢山やるよりも、解いたことある問題や基礎を繰り返し復習する方が良いです。

2 つ目は、気持ちを落とさないようにすることです。不安な時は先生や友達に素直に話してみましょう。私は周りの友達がポジティブな考えに変換して声をかけてくれたおかげで、最後まで気持ちを強く保つことが出来ました。

その結果、本番では自己ベストを取ることが出来ましたが、直前になって点数が上がらないということはよくあります。1、2 年生のうちから授業でやったことはしっかりと身につける癖をつけてください。3 年生になってからも教科を絞らず満遍なくコツコツ勉強するように意識して頑張ってください。

次に面接に関してですが、私の場合は共通テストが終わってから約 2 週間後に面接があったので、一般入試の勉強と並行して面接対策をする必要がありました。そのため、志望理由など必ず聞かれる質問は 12 月末までにある程度考えました。今回は 1、2 年生のうちから取り組めることで、2 つ伝えたいことがあります。

1 つ目は、高校生活の間に何かに全力で取り組み、たくさんのことを経験しましょう！部活動、生徒会、習い事、ボランティアなど取り組むものはなんでもいいです。たくさんのことを経験することで、様々な力が身につき、考えや視野が広がっていきます。このような経験は、面接で話す内容の幅を広げることに繋がります。

2つ目は、受験する大学について詳しく調べましょう！面接はその大学で学びたい熱意をどれだけ伝えられるかが大切です。大学の特色や取り組み、学べる内容などをたくさん調べてください。

最後に、これから文理選択や志望校など進路のことで沢山悩むと思います。その時は、先生や家族、先輩など経験してきた人達をたくさん頼ってください。「迷惑かな？」と迷っても頼ってください。迷惑はたくさんかけて大丈夫です！しかし、最終的に決めるのは“皆さん自身”です。「〇〇に勧められたから」、「〇〇がこうするから」と他人を理由にして決めることはやめましょう！自分が壁にぶつかってしんどくなった時に、他人のせいにして簡単に逃げる事が出来てしまいます。そのような状況を作らないために、たくさん考えて自分が一番頑張れると思う選択を自分で決めてください。

皆さんのこれからの明るい未来を心から願っています。応援しています！

「受験で大切なこと」

九州工業大学・情報工学部・情工2類 藤田 直樹

このような合格体験記を書くことができることを大変嬉しく思います。私からは受験を通して感じた、大事だと思ったことを皆さんに伝えたいと思います。

まずは、英語についてです。理系は英語ができなくても大丈夫だと思っている人がいるかもしれません。確かに英語を二次試験で使わなかったり、共通テストで英語の配点が低かったりする大学もあります。しかし、英語は使われている単語の量や難易度がテストによって異なるだけで、数学や理科のように見たことのない問題だから解けないといったことがあまりありません。つまり、点数が安定します。また、英語の勉強は英単語帳を通学中に読むなど、スキマ時間に取り入れやすいです。英単語は覚えるだけで見える世界が格段に変わります。継続ほど難しいものはありませんが乗り越えてください。

次は、入試制度についてです。私は学校推薦型選抜Ⅰで九州工業大学に合格したのですが、はじめは推薦入試を受験する気がありませんでした。推薦入試では面接で今までしてきた活動について質問されますが、私は今までたいした活動もしてこなかったため、面接では合格できないと思っていたからです。しかし調べてみると、九州工業大学の面接はそれほど重視されておらず、学力テストの配点が高いことがわかりました。このように大学によって何を重視しているのかが違うので、自分の得意なことの配点が高い大学がないか調べてみてください。また、推薦入試を受験するには高校から推薦をもらえるような成績が必要なので、受験に必要な科目だけでなく他の教科もよい評定がとれるよう頑張ってください。推薦をもらえるかどうかで合格のしやすさが格段に変わります。

最後に、これからも部活や勉強で忙しいと思いますが、最後まで自分や自分の信じたいと思う人を信じて頑張ってください。皆さんが合格できるよう応援しています。

「受験を通して」

久留米大学・医学部・看護学科 小柳 優芽

私は、久留米大学医学部看護学科に推薦入試で合格しました。私が受験を通して学んだことを伝えたいと思います。

まず一つ目は、部活動と勉強の両立についてです。平日は部活で家に着くのは八時過ぎで、土日は遠征で県外に行ったりしていたため、家に帰ると疲れてすぐに寝てしまう日もたくさんありました。しかし、日々の宿題や定期テストに向けた勉強は手を抜かず、部活が休みの日や空いた時間を見つけて、まとまった勉強時間を確保できなくても少しずつ勉強をするようにしていました。推薦入試には評定が必要になります。そして、一・二年生のころから定期テストの勉強を頑張っておくことで、三年生になり受験前もうまく時間を作ることができるので、定期テストだからと手を抜かないほうがいいと思います。そして、私は部活を高校生活で一番頑張ったという自信があります。そのため、面接のときに部活について沢山アピールすることができたので、部活を頑張っていてよかったと思いました。ここまで頑張れたのは毎日指導してくださり、支えてくださった長谷部先生のおかげだと思います。本当にありがとうございました。高校三年間で頑張ったことが受験につながっていきます。そのため、高校生活で自信を持って頑張ったといえることを何か一つも見つけてみてください。

二つ目は早めに大学を調べておいた方がいいということです。私はなかなか行きたい大学が決まらず、ぎりぎりまで佐賀大学にするのか、久留米大学にするのか悩んでいました。しかし、オープンキャンパスに参加したりホームページで調べたりしていくうちに、私は将来救急救命の看護師になりたいという目標があったので、救急救命に力を入れている久留米大学を目指そうと決めることができました。同じ学部でも大学によって特徴があります。そのため、たくさんの大学を調べて自分に合った大学を見つけることが大切です。また、推薦入試を受ける人や看護を目指している人は面接が必要な大学が多いと思います。私は志望動機がなかなかまとまらずとても苦労したので、大学のアドミッションポリシーを調べたりして早めに志望動機を考えておいた方がいいと思います。

私は受験を通して、一日一日の積み重ねが大切だということを感じました。毎日勉強や部活できついている人もいると思います。しかし、日々の努力が将来につながっていくと思います。一日一日を大切に頑張ってください。応援しています。

「受験を通して」

長崎大学・教育学部・幼児教育コース 井原 蒼来

私は十一月に推薦入試を受けました。結果が分かるのは共通テストが終わった後の二月。期待と不安が残るなか、一般入試に向けて勉強をしていました。しかし、推薦入試の結果は不合格。正直、私の友だちは早くに受験を終えている人が多かったので、私も早く終わらせたいという気持ちがありました。だから、自分の受験番号がなかったときすごく残念な気持ちでした。それでも私が最後まで頑張れたのは、オープンキャンパスに行った時に、推薦では不合格だったものの一般で合格したという先輩がいたからです。だから、私も諦めずに最後まで挑戦しようと思うことが出来ました。これから受験を迎えるみなさんも、全ての受験が上手くいくとは限りません。しかし、チャンスが何度かあるときには、諦めずに挑戦するという道を選んでほしいです。また、私はクラスメイトの力もすごく大きかったと感じています。私のクラスは国公立大学を目指す人も多かったので、少し勉強が疲れたと思うときにも周りを見れば誰かが勉強をしていました。その姿を見て、私も頑張ろうと思うことが出来たので、受験のプレッシャーを一人で背負いすぎずに誰かに話したり一緒に頑張ったりすることはすごく良い事だと思います。

私は、はじめは推薦入試を受けるつもりはありませんでした。みんなが勉強をしているときに私は志望理由書と面接練習に追われ、あまり勉強時間も取れず不安になることも多くありました。でも、受験が終わった今、あの時間もとても大事な時間だったと感じています。志望理由書を書くときに改めてなぜ自分がこの大学に行きたいのかを考え、モチベーションを高めることが出来ました。また、私は一般入試の二週間前にコロナにかかってしまい、ほとんど面接練習が出来なかったのですが、推薦の時にたくさん練習したおかげで少しは自信を持って受験に挑むことが出来ました。

受験の時期は不安や焦りが多くあると思いますが、自分がそれまでに頑張ってきたことが何かの役に立ち、周りの人からの応援が励みになることも多いと思います。だから、周りの人を頼りながら、自分が行きたい進路に向けてこれから頑張ってください。応援しています！

「受験を通して」

佐賀大学・教育学部・初等教育学科 近藤 史都

私が受験を通して皆さんに伝えたいことは三つあります。

一つ目は、敵を知ることです。敵は違う高校に通っている人でも、今隣にいる友達でもなく、受けたい大学です。大学によって、共通テストで使用する科目や配点、二次試験で使用する科目が全く違います。そのため、自分が行きたい大学を早く決めて、その大学について調べることを今すぐにでもして欲しいです。

二つ目に、共通テストの対策についてです。共通テストは、どの大学に行くにしても、受ける必要があります。文系の人は理系科目を捨てない、理系の人は文系科目を捨てないことが大事です。特に、文系の理科基礎と社会は、勉強をすればするほど得点源になります。そのため、理科基礎と社会は特に定期テストからしっかり勉強することをオススメします。そして得意を伸ばすのも大事ですが、苦手を克服して欲しいと思います。私は、文系ですが英語が特に苦手で、模試でも平均点以下を取ることが多かったです。しかし、共通テストの英語は、慣れると解けるようになります。そのため、何回も何回も実際の試験と同じ時間で解いて欲しいです。

三つ目は、環境作りについてです。私は、家では勉強出来なかったもので、図書館に行ったり、町の自習室に行ったりしていました。そして、私が一番大事だと思うのは友達です。私は、一般入試だったので二月の後半まで受験がありました。その時期に学校に来る人はとても少ないです。そのため、最後まで一緒に勉強出来る友達を作ることをオススメします。私は、その友達と模試の結果を見せ合い、『次はこいつに勝つ。』など、自分を鼓舞することが出来ました。お互いに敵対視することにより、切磋琢磨でき、高めあうことが出来ました。

最後になりますが、私は一年間トイレ掃除をしていました。トイレは特に不快感を持つようなところですが、そこを掃除することにより、嫌なことを率先的に出来るようになります。そして心の浄化にも繋がります。皆さんにはぜひトイレや他の場所の掃除もしっかりとして、受験を乗り越えてください。自分を信じられるのは自分だけです。自分を信じて、最後まで頑張ってください。陰ながら応援しています。

「受験を通して」

西南学院大学・経済学部・国際経済学科 原 広成乃

私は西南学院大学に指定校推薦入試で合格しました。そこで私がこの受験を通して大切なことを皆さんに伝えようと思います。

一つ目は、定期テストの勉強に手を抜かずに取り組むことです。推薦入試を受けるにあたって評定平均はとても大切です。大学が提示する評定平均に満たさなければ、その大学を受験することはできません。よって日頃の授業態度、提出物、定期テストにしっかり取り組んで欲しいです。

二つ目はどんなことでも良いので目標を立てることです。私は、入学時、三養基高校が実施している夏季海外研修に行くという目標がありました。海外に行くためには他国を知る必要があり、知るためには語学力が必要です。そのために私はESS部に入り、様々な国の人とコミュニケーションをとって言葉のニュアンスの違いや他国の文化を学びました。このように目標を持つことで自分には何が必要なのかを知ることができ、自分の目標に向けて様々な力を身に付けることができます。私は今、留学をするという新たな目標に向かって頑張っています。皆さんも目標を持たずにただ過ごすのではなく、目標をもって過ごしてほしいです。

そして、最後に私が一番伝えたいことは多くのことに挑戦し、経験を積むことです。私は生徒会活動や応援リーダー、ボランティア活動などを通し、様々なことを学ぶことができました。実際に経験することで、今まで自分が知らない大変なことやうまくいった時の喜びなど、経験しないと味わえないことが多くあります。やってみて上手くいかなかった。じゃあ次はどうすればいいのかと経験したことから学ぶことで成長することができ、今後に役立っていくと思います。

挑戦することは簡単ではなく、とても勇気が必要です。挑戦した結果、失敗したらどうしよう、恥ずかしいというような思いを持っている人がいると思います。私もそうです。しかし、結果はどうであれ挑戦した。その挑戦が一つの経験であり自分の成長に繋がると 생각합니다。今後生徒会や応援リーダーなどやってみたいという気持ちが少しでもあるなら挑戦してほしいです。

私の話が皆さんの役に少しでも立てば幸いです。応援しています。

「公務員を目指して」

佐賀県警察事務 青沼 羽留樹

私は、佐賀県警察事務で採用されました。警察事務とは、遺失や拾得事務から犯罪、事故などの統計業務、警察官の給与や勤務管理など警察官を裏から支えるものです。

そもそも私が公務員を目指した理由は、たくさんの人々を支える職業に就職したいと考えたからです。そこで高二の冬に公務員になるための勉強を始めました。

しかし、公務員試験の勉強はすぐに行き詰まりました。なぜなら試験の出題範囲が世界史や日本史、地理、政治、経済、更には物理、化学、生物、地学まであり、そして数理推理、判断推理といった公務員試験独自の問題もあったからです。これらの勉強を、私は公務員試験などを専門としている塾に通って行いました。

そして、特に苦戦したのが面接です。面接中、質問に正しく分かりやすく答えないといけないので、事前に考える必要がありました。そして、適切な言葉遣いや自身の体験に対し、どう感じ、どう考えたかなど細かく考えないといけませんでした。また、私は緊張しやすいので練習しているときでも緊張して頭が真っ白になり、質問に正確に答えられないこともありました。これに関しては、少しでも慣れるようにとにかく練習の数を増やしました。その結果、だんだんと緊張がほぐれるようになりました。その後も勉強と面接の対策を行い続けた結果、警察事務に採用されることになりました。

アドバイスとしては、様々な活動に積極的に取り組むことです。例えば勉強や部活、委員会など普段からできることでも良いです。どんな目標を立て、今の自分に何が足りないか、どう努力するか考えてみてください。そうすれば、面接でどう答えるか、という資料になり、同時に会社や大学に、自分はこんな人間だ、とアピールできる回数も多くなります。そのために、今のうちからたくさんの活動に積極的に取り組んで欲しいと考えます。これからも頑張ってください。応援しています。

「受験を通して」

帝京大学・福岡医療技術学部・医療技術学科・救急救命士コース 筒井 和輝

私が受験で大事だと思ったことを紹介します。

まずは、クラス全体で最後の一人の進路が決まるまで頑張ろうという雰囲気を作ることです。これは担任の先生に4月から常に言われてきたことです。入試には様々な形態があるため、一人一人受験が終わるタイミングが志望校によって変わってきます。そこで大事なのは、受験が早く終わった人の終わってない人への配慮です。私のクラスは他のクラスより進路が多岐に渡っていたので、特に大事だと感じました。受験時は皆さんが思っている以上にナーバスになります。休み時間や自習中、話し声やちょっとした物音で集中力はすぐ切れてしまいます。いったん集中力が切れるとそこからもう一度集中しようとするのはかなり難しいです。受験期間は必要以上に周りに気を遣ってください。

次は、苦手教科の克服についてです。皆さん何かしら苦手な教科があると思います。私は英語が本当に苦手で、模試で一桁の点数を取った事があるほどでした。そこで、克服するためにおすすめすることが3つあります。1つ目は小さな成功体験を毎日積むことです。「できない、できなかった」という今までの経験が苦手意識を作っている大きな要因だと思います。簡単なことでも「できるようになった」という経験をしていくことで、徐々に苦手意識をなくし得意教科にすることができるようになるかもしれません。2つ目は得意教科を勉強した後に苦手教科を勉強することです。得意教科はモチベーションの源です。得意教科を勉強してモチベーションを高めた状態で苦手な教科の勉強をすることで、普段より頭に入りやすい状況を作れると思います。3つ目は分からないことは一人で悩まず質問することです。一つ断言できるのは、人に質問できる人は強いということです。できないことは一人でどれだけ悩んでもできません。できない自分を素直に認めて、勇気を出して先生に質問し勉強法などを聞いてみてください。勧められた勉強法が自分に合うかは分かりません。ただ、まずはやってみてください。苦手を克服できるきっかけになるかもしれません。苦手教科を克服できれば、大きく点数を伸ばすことができます。最初は嫌かもしれませんが、逃げずに頑張ってください。

最後に、本を積極的に読んで読解力や速読力を身につけてください。年々共通テストは難化していると言われています。その大きな原因として文章量が増加していることが挙げられます。文章を素早く読んで、素早く理解することが求められます。朝読書の数分間だけではなくしっかりと読書をすることを勧めます。

来年から共通テストも新課程となり、不安になる人も多いと思います。しかしやるしかないです。一日一日を大切に後悔のない受験生活を送ってください。頑張ってください。応援しています。